

| | | |
|----------------|-------|---------|
| 公民「現代社会」(必修科目) | 単位数 | 2単位 |
| | 学科・学年 | 工業科・3学年 |

1 学習の到達目標等

| | |
|------------|---|
| 学習の到達目標 | 1 現代社会の特質や青年期について、自己との関わりをもって学習する。 2 経済や政治の基本事項及び国際社会が抱える問題について学習する。 3 主権者としての政治参加の在り方や重要性について学習する。 |
| 使用教科書・副教材等 | 現代社会 (第一学習社) 最新図説 現社 (浜島書店) |

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい | 考查範囲 |
|-----|--|----|--------------------------|------|
| 1学期 | 私たちの生きる社会 個人の尊重と法の支配 日本国憲法の基本原理 選挙制度の現状と課題 | 4 | ・地球環境問題や高度情報社会について学習する。 | 中間 |
| | | 5 | ・個人の尊重と法の支配について学習する。 | |
| | | 6 | ・憲法の基本原理と基本的人権について学習する。 | 期末 |
| | | 7 | ・選挙制度や地方自治について学習する。 | |
| 2学期 | 国家主権と国際法 経済のしくみ 国民所得と私たちの生活 日本の財政の課題 国際経済のしくみと課題 | 8 | ・国家主権と国際法の意義について学習する。 | 中間 |
| | | 9 | ・経済の基本的なしくみを学習する。 | |
| | | 10 | ・経済指標の意味と経済的豊かさについて学習する。 | 期末 |
| | | 11 | ・財政の意味と課題について学習する。 | |
| 3学期 | 国際社会のこれから | 12 | ・外国為替や国際貿易の仕組みについて学習する。 | 学年末 |
| | | 1 | ・人口問題などの国際的取り組みについて学習する。 | |
| | | 2 | | |
| | | 3 | | |

(2) 評価の観点及び内容

| | |
|--|---|
| 関心・意欲・態度 | ・現代の諸問題について関心を深め、自己との関わりの中かで問題を考え、主体的に行動しようとする態度を身につけている。 |
| 思考・判断・表現 | ・現代社会の多様な問題について、多角的な視点から考察し判断した上で、自らの意見を表現することができている。 |
| 資料活用の技能 | ・多くの資料の中から精選し、必要な具体的な事例を集め、それに基づき判断を形成する能力を身につけている。 |
| 知識・理解 | ・現代の政治や経済についての基礎・基本的な用語や制度について、理解できている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は、定期考査を基本として、提出物、発表、授業態度等により総合的に評価する。 ・学年末の成績は、1～3学期の評価をもとに総合的に判断して評価する。 | |

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会は、ますます複雑化し多様化しています。問題意識をもって、日頃から日本や世界の政治・経済・文化などの動きにふれることが大切です。新聞やテレビなどを通してニュースにふれることが大切です。インターネットも大いに役立ちます。そして、授業で現代社会の基礎的・基本的学習をしっかりと行っていくと、確かな学力が身に付いていくことになることでしょう。 |
|--|